

## 第8期 第3回足立区あらかわ市民会議 議事概要

■日 時：平成24年2月9日（木） 14:10～15:50

■場 所：足立区役所本庁舎南館4階 作業室

■参加者：構成員14名、事務局6名、オブザーバー1名

■議 題：1. 開会

2. 議事録確認委員の選出について

3. 報告・情報提供

4. 討議

（1）地区別計画について

（2）本木ワンドの維持管理に関する提案について

5. その他

・次回の開催予定日

### － 議 事 －

○出された意見、●行政委員からの説明、→事務局からの説明

#### 1. 開会

#### 2. 議事録確認委員の選出について

・植原委員と長谷川委員が選出された。

#### 3. 報告・情報提供

・荒川下流河川事務所より2点の報告があった。まず、代表者会議で今後の市民会議のあり方等議論してきたが、前回会議で荒下としての原案をまとめて議論した方がいいという話があり、各市民会議で意見をいただいている。今後どういう枠組みで行うか荒下で整理している最中で、整理がつき次第、代表者会議で報告して意見をいただき、練っていこうと考えている。平成23年度内で一旦休止し24年度に新しい組織に移行することを提案したが、当面8期はこれまでの市民会議の枠組み通り議論いただく。荒下の原案がまとまり次第、若干意見をいただく時間をいただければと思う。

もう1点は、3月8日に将来を考える協議会の開催が決まったが、各市区で地区別計画書の議論の進捗状況が違う。早い市区は3月8日の段階で地区別計画書がまとまっているが、遅い市区は夏の協議会までにまとめてもらうスケジュールでお願いしている。足立区は今回まとまり、3月の協議会で決まる。

○1点目について、まとまり次第というのはどのくらいの日程で考えているのか。

それが3月8日までにとということか。

→年度内には枠組みの提案をしたいと検討している。3月8日の協議会では次の枠組みの話は一切しない。

○それとは別の話か。

→別の話である。荒下が3月8日の協議会に出して次の組みにになってしまうことは絶対にしない。

#### 4. 討議

##### (1) 地区別計画書への意見募集に関する報告（資料 2-1, 2-2）

- ・足立区より区民から寄せられた意見とその対応方針について報告があった。昨年後半に最終的な地区別計画書案についてお話し一通りお読みいただき、昨年 12 月 16 日から本年 1 月 13 日までインターネット等で意見募集を行った。この作業は平成 22 年 12 月に開始し、23 年度に月 1 回くらいのペースで計 8 回検討会を実施し、見学会もできた。資料 2-1 は区民から寄せられた意見の全文で、8 つの項目に分けて整理した。資料 2-2 は意見を項目毎に整理しその対応方針を説明したもので、対応方針は極力今回の地区別計画と 2010 年推進計画の内容に沿った形で書いた。本人に直接回答を返す予定はないと最初にお断りしており、何らかの形で公表する。

○将来像計画を出した時は、国交省が印刷した本に意見を書いた。今度はどういう方針でいくのか。

→今回は地区別計画書にも載せない。前回は地区別計画書の形では入っていなかった。

○入っていない。それが推進計画の方に出るとすると、国交省がもう一度精査するのか。

→推進計画はもうできあがっており、あくまでも地区別計画書に関する意見なので、反映された形でできあがる流れ。

○区としてはどこかで回答を出さないといけないだろう。

→そうである。

○パブコメを見させていただいたが、あまり目立つ場所になかった。従来のパブリックコメントのようにHPのパブコメ欄にこれをお出しになればいいと思う。

○初歩的な質問だが、区民委員は 2 年に 1 度公募しているとあるが、私たちは 1 年目だが来年もやるということなのか。

→今の規約でいけば来年また公募という形になると思う。

→今まで 2 年目の冬に公募の手続に入ってという話だが、9 期をどういう形でやるか決まっていないので、今の枠組みは 2 年に 1 度公募している。来年頭に公募するかはまだ分からない。

○更新は妨げないとか検討課題としては入るのか。2 年毎に更新するという事で、経験をお持ちの方がお入りになっていただくことでこの会議の継続性が保たれるのではないか。

→今現在そういう形でやっている。今後の枠組みを荒下で検討しているので、それがどういう形になるのかという中で議論がされるのかなと思う。今の段階ではどうというのは持っているものがない。

○資料 2-2 の 7 小台・扇ブロックの回答の説明の中で、東京都の利用計画が定まった時点において、と東京都の計画待ちと読んでいいのだと思うが、東京都がどのくらいまでに計画を定める予定であるかというのは聞いているか。

→資料 1 の P. 27 の中段あたり「これまでの成果の〈取組み課題〉」で出てきた部分で、P. 28 に 1996 地区別計画の時のスケッチが出ている。「小台浄化センター上部のスポーツ施設の一体的整備」とうたっていたが、下水道局に確認したところ今現在は使われておらず、一部少年野球で使っていた。当時はくみ取りによるし尿を処理するための施設をここに整備

する計画だったそうだが、下水道の整備が進み、早急に設置する必要性が無くなった。下水道局としても何も作らないので手放すというわけではなく、宮城に下水道の処理場があり、施設間の連携を考えなければならないということで、検討しているという状況だそう。計画が全く無くなったわけではないので、可能性として残しておくほうがいい。

○東京都が計画を作成しないと動きようがないという背景が当然あるのだと思うが、待っている方もいるし、区独自の課題を早急に対応したいという思いもこの地域の方々はあると思う。そういう期待に応える上では、仕事は期限を設けてやるべきではないだろうかということをお願いしたい。可能なら平成 24 年度中には少なくとも期限だけは出すという答がもらえればいいのではないかと。

→都がどういう方針にするかもまだ分かっていない。

○基本的には都が作成しなければ動きようがないというのはよくわかるが、いつまでも待っていていいというものではないという気がする。

○都はいつ頃までに答えを出すというのはないのか。

→まだその段階ではないということだった。

→最近、みやぎ水再生センターと小台の用地の活用について再検討を始めたいという話がある。いつまでというのはまだ決まっていないが、あまり時間をかけずに利用を検討していきたいという話だったので、もう少しお待ちいただき、わかり次第お知らせする。

○そういう答えしか出せないのはよくわかるが、区としての要望は、仕事なのだからしっかり取り組んでいこう、いつまでにやろうと期限を設けて話をしたいという強いアピールをしていただきたい。

○他には。パブコメのようなことをして、2 名の意見をみた。地区別計画書の中身をおさらいして、変更点等はあるのか。

→最後は特には。P. 66「自らできる川づくり支援の仕組み」の表に書きこむことを入れてみたらどうかという話をいただき、入れている。それは資料 2-2 の 6 の対応方針「生態系を含め、荒川を守り育てることが重要であることから『自らできる川づくり支援の仕組み』にもかかってくる部分で、こういうメニューを例として区民にも参加してもらえればという形をとっている。補足だが、自らできる川づくり支援あるいは小中学校の野外活動の取り組みという意味では、地区別計画の中で P. 58 取り組み事例として荒川ビジターセンターを入れており、区としてセンターを整備し、そこを窓口として啓発活動や環境教室等の活動をしているので、ぜひ利用いただければと載せている。

○荒川ビジターセンターを運営しているのは、民間委託の会社か。

●民間委託である。

○足立区の例えば生物園はすべて民間委託か。

●生物園は職員が張りついて、特殊な動物や昆虫の飼育は民間業者を 2 社入れている。

○どういう民間の業者を入れるかはどのように決めているのか。

●プロポーザルという形で事業計画等聞き、選択する。

○民間で請け負っている会社もビジターセンターと小中学校との提携等を理解しているのか。

●している。

○ビジターセンターの人はオブザーバーで来ていないか。P. 66 表 5 はこれからやる話で、1

- 番目に荒川市民会議の運営と書かれているが、先ほどの話とどうなるのか。
- 元々の計画の中にも入っているので、ここは申し訳ないが修正等になるかもしれない。
- 代表者会議の概ねの意見としては、市民会議は残すべきだという意見である。
- 計画として 10 年後にあり得るところに書きこんで、次の年に無くなるというのは変な感じがする。
- P. 66 表 5 の 7 で、私自身はある程度のことは知っているが、区としては平成五色桜に関して協働による維持管理組織、桜守のような制度を作ると言われているが、どのような進捗になっているか。
- 80 周年事業の方で一所懸命やっている。昨年桜の測定をやっていただいたのでそれも引き続きやっていただきたいと考えている。オーナーの方々に発信していかなければならないということがあるので、来年度から新組織になる関係もあり、それと併せて逐次作業を進めていきたいと考えている。
- 計画を作ってからどう実施するか P. 67 にまた出てくる。荒川市民会議は推進と計画変更プロセスの要になってくる。「このため「荒川市民会議」や「荒川の将来を考える協議会」において、計画の評価システムとしての P D C A サイクルを導入し、計画を確認し、議論を重ねながら活動を実施していきます。」今までそういう機能になってきた。「市民会議等」ではなく「市民会議」になっている。後で問題のないように考えていただかないと困る。
- 4 月等に荒下から提案した形で移行がなっていれば、その中に盛り込むことができた。現段階において提案できる状況ではないので、現計画書に沿った形で作るしかない。こういった記載も含めて議論いただければ。
- 足立区の会議にはこれくらいの人数しか出ないが、各市区で市民委員は 10 名以上いるのか。
- 市民委員の出席人数として足立区は多い方だと思う。人数はいるが実際に来るのが 5, 6 人とかいう所も結構ある。
- 2 年に 1 回ではなく毎年公募して、2 年という任期があってもいいが、新しい人と古い人と、2 年でやめる人もいるので、委員が重複する期間があってもいいのではないか。足立区は範囲が広いが、代表がどこの地区からも来ているわけではない。みんなが荒川のことを考える体制にするには、もう少し委員の数が多くてもいいのではないか。足立区には環境団体が無い。いろんな空気がわかる組織にはできないのか。
- 規約を 7, 8 年前に見直した時に、足立区は 2 年という設定にしたのだと思う。他の区では毎年公募、再任、年を切らないというやり方をしている所もある。各市区で議論して規約が別々になっている。
- 市民会議が全部 2 年毎に公募するのと思った。
- 市区でばらばらになっている。
- 現行の会は 2 年任期で始めたので、その中でどうするか議論するのだったら。その前に荒下で別の提案が出てくるかもしれないから、その時にしたらどうか。
- 少し考え方を変えていかないと。もう少し区民代表の人たちがいてもいいのではないか。
- ・委員により資料 3「本木ワンドヒアリングと本木地区の維持管理についての提案メモ」が報告された。1 月 7 日、14 日、28 日の 3 回にわたり本木ワンド付近と緊急河川用通路を歩

いている人や野球の監督、ホームレスにヒアリングを行った。なぜヒアリングが必要かP.2の下に書いている。住んでいる人と利用者が違うことが多い。地元の人意見と利用者本木ワンドを維持しようとする意見が違う。行政サイドから来るゾーニングにおける意識も、今ソフトボール、野球、少年野球をやっている人たちは、こういう計画になっていることを知らなかった。そういう意見を合わせて、持続可能な管理を共通目的である将来像計画をみんなで考えていただけるようにヒアリングを強化しないと無理だと思った。P.3目標設定ということで、ここだけうっそうとしていていやだという意見もあったので、短期目標としてひょうたん池の管理と草刈り。私は川際の草刈りはやっていたが、ひょうたん池の管理と草刈りに関して、例えば月1回土曜日の午前中ならできるので、市民委員と一緒にやっていけないかと考えている。中期目標はヒアリングと検討会、将来像計画も含めて維持管理の活動後に野球をやっている人と話をする。長期目標としては桜を植える計画もあるので、自然地の管理によって生きものを誘致すれば、花見に来た人がひょうたん池を見たり、つながりが出てくる。観光エリアということで桜と緑地、船を渡して桜木の方と渡したり、いろいろな意味でこの地を宣伝できる。桜ができていい場所になったが、ホームレスが住んでいる。この問題の解決には時間がかかる。社会福祉事務所に電話したが、生活の支援という形でしかない。ホームレスは子供の夜遊びや放火等に関し結構情報は知っている。接してみると、一人の人で一所懸命生きているのがわかる。ヒアリングの対象にしているかどうかかわからないが、無視はできない。こういう問題も含めて長期的に話し合えたらと思っている。一番気になったのは、ひょうたん池の管理について簡単に管理の図と内容を出したが、池の周りの草を刈り真ん中の見通しをよくしていけば、ある程度いいのかなと思った。管理の行程表を作ることも考えている。

- 現況である。河川敷にも自然環境、社会環境がある。
- 本木ワンドの西側、上流側で野球をやっているソフトボールの場所を、20年くらい自主的に草刈をして整備している人がいる。本当だったら自然地の管理にすべきという話もあり、そういう形で自主的に草を刈って野球をやっている人とどうしていったらいいのか。足立ヤングスを知っているか。都で優勝し今度区長から感謝状をもらうという話を聞いた。
- わからない。連盟に入っているチームだとわかるが。うちの場合は全部グラウンドを使っている。草地等は一切使っていない。
- ヤングスが、いつもは六中を使っているが、工事をしていて練習できない。この1月から練習で使い出したと言っていた。
- 連盟で問題になっているのはタバコで、グラウンドも公園の一部なのでタバコは吸ってはいけないことになっている。土手や河川敷等人の見えない所で吸っていてかえって危ない。今年からネット裏に吸える場所を作ろうかという話になっている。
- 新田わくわく広場で去年の暮、出火で。
- 河川敷での火事は結構あるのか。
- ある。タバコの火かわからないが一昨年少年たちが火遊びした例もある。
- 少し前にも扇大橋でも火事があった。
- あれは原因がわからないので、警察はタバコのポイ捨てということにしていた。ここに住んでいる人は少年が火を点けると言っていた。扇大橋の下に住んでいた時、火を点けられた、子供の教育はどうなっているのかとなる。大人は怖いので注意しない。彼らなりに一

所懸命生きようとしているが、ホームレスは悪い人というレッテルがついているので、何をやっても悪いのだと。彼らがやっていないことも、やったと町の人たちは言う。それはちょっとかわいそうかなと思う。その辺をどういうふうにしていくかわからないが、議題として取り扱っても良いのではないか。

- 難しい問題で、千住新橋と西新井橋の間の右岸側のちょっとヨシの生えた所に中学生が入って行って、タバコを吸っているのを目撃した。その人たちは吸っても多分1年で、進学していくと止める。来年その人たちはいないかもしれないが、入れ代わりで、若い子供たちはそうである。常習的ではなく一時期だけやるのを止めるのは難しい。例えば、ヨシ原の見通しをよくするではないが、そういう所があったら背丈を低くして見通しをよくすれば、隠れてタバコを吸うことはないと思う。2度ほど注意した。
- 僕も先月、橋の下で中学生がタバコを吸っていたので怒った。
- バーベキューもやっているし、バイクは常時走っている。国交省に1回通報した。
- ソフトボールを1月からやっているというが、それは区の占用許可をとっているのでは。
- そうではない。20年前から管理している。
- 何でもありになってしまう。荒川パトロール隊や河川事務所で委託している人たちは報告をされないのか。そういう報告があった時には、一時的なものだから3ヶ月間は一部占用許可を与える等形をきちんとしておけば問題はないと思う。ホームレスの問題も含めて、占用しているという報告はないのか。新田わくわく公園で50mくらいの所を刈ってラジコンのダートコースを作った人がおり、自主パトロールしている時に、するしないはいいが、区の了解を得ているか聞いたことがある。やるなら了解をとったほうがいいとご忠告した。私には止めるという権限はないから。パトロール隊はご存じなのか。
- バイクで回っている人がいる。
- パトロールの時間帯をはずしてやっている。
- 河川道路の舗装された所を走っているだけ。横に入った所には入って来ないでしょ。
- 止めて入って来るが、よほどのことがない限り来ない。
- 見えない所でやっているからわからない。
- ソフトボールに関しては見えると思うが。
- ソフトボールの広域の範囲の草を刈っているという所は、占用許可をとっていなければ問題だと思うので、占用許可をお取りですかと聞かれているのかとか。
- そういう感じというよりは、土着している。
- パトロールの目的とか、言われていることが。
- 国交省はご存知なのかとか。
- 使われていることは把握している。現地に看板を立てたりした。実際に四六時中立って入らないでくださいということはしていないが、何かあればダメですよと注意している。そこに入る行為自体がダメなわけではない。私の感覚ではグラウンドの整備をしてしまうのがおかしい行為なので、そこを見たら直ちに止めなさいと言える。
- 既に20年前から。
- 中学の工事している間だけではないのか。
- ちがう。だいぶ前から行っている。ここは明らかに区が管理しているのかなと思う雰囲気があるので行けばわかる。

→グラウンドに浸食してきたのではないか。

○委員の言う河川パトロールというのは、区がやっているのか都がやっているのか。

→荒川は国である。

○隅田川は都でやっている。

○荒川とは河川管理や河川敷のパトロールとは見回り隊の発注が違う。

○利用している人でもあるし、愛着のある人でもある。でもこちらから見たらちょっとそれはというのがある。話し合いをしていかないと。話をした時に監督に「既に僕たちがやっている所に対して新たにこうされるとかみんなができなくなるなら、俺は立ちあがるよ」と言われた。ホームレスより性質が悪いかもしれない。そこを話し合っていかなければならないし、市民委員や私たちが話しながらうまくつないで、一緒に維持管理できるような感じの内容にできればいいのではないかなと思ったが、それには時間がかかる。まだ会っていない。日曜日の午前中と聞いた。パターゴルフも婦人がやっている。私は堀切の方は掃除しているが、先月もゴルフを見たが注意できない。写真は撮ったが。全部芝を刈ってしまい、芝が飛んでいく。北区のマラソンをやっていた日で、北区のパトロールの折り返し地点になっていて、その人に注意してもらったが、止めずにやり切って帰った。だから止めさせるのは非常に難しいです。

○P. 38 のL04 はげている所、大規模自然地だが野球場になっている。

○マウンドがないソフトボール場みたい。

○現況調査してもらった中で浮かび上がったことがいろいろあって、すぐやれることとやるべきことと、解決策がすぐ見えてくることと。ひょうたん池の周りをボランティアで草刈りするのはできるだろうが、ホームレスを何とかしようというのはすぐにはできない。今課題の大規模自然地なのに野球場になっているのが放置されているのは何とかしなければならぬ。ボランティアではできないので荒下の方で。一部はワンドにしたり自然性を高めようというのでひょうたん池で湿地を作ったりしている。隣では、草を刈って野球場にしているというのは矛盾がある。委員の提案メモになっている。ひょうたん池の周りは草刈りやゴミ拾いを月1くらい実施しようというもの。

○草刈りくらいですね。またこの辺はクヌギが植わっている。

○ワンドの川の右側の方にサクラを誰かが植えた。一時期畑があった。

○提案メモということだが、本木ワンドを整備する会がなくなったので、委員が維持管理しているが、そういう会を立ち上げたいということか。

○そうである。9月まで占用になっているので、会を立ち上げるまでは考えていなかったが、一緒にできればどうでしょうか。時間があまりなくても来られる人が来て一緒になれば良い。

○組織があれば、呼びかけ等していけばできるのではないかと思った。

○前あそこに本木ワンドの会の看板があり、こういう活動をしませんかとあった。

○私たちというよりみなさんでやった方がいいかなと思っていて。できればそこに利用して通る人や住民や地元の人が入って、桜も出てくるのでそういうのを含めた形で一緒にやれないかなと考えている。委員が手足を作った場所なので、ひょうたん池をきちんと守れば、あそこにタシギとかも来ていたりするので、時間があれば会を作ってやれば良いと思う。毎回来るのは大変だと思う。

- 委員さんが作ってくれたが、参加数が減り消滅した。
- 平日ではなく活動が土曜日であればいいかなと思う。前は平日の昼間にたまに区の人にも来ていただいていた。みっともないと思う。桜がきれいになっているのに目の前の池が管理されていないような感じで。きちんとそこができていれば、桜を見て、弁当を食べたり、鳥が来たり。去年珍しいアオスジギンヤンマを見た。樹木がある所にしか来ない。桜木の木の影響もあると思う。
- 本木ワンドまで桜が植わったのか。
- まだ桜は咲いていないだろう。桜を見に来た人が、本木ワンドを見た時に管理されていないと思わないと、参加してもらえない。今から言ってもそんな奇抜な人はいない。現物を見ないとそんな気にならない。我々は先走りで行いたいと思うけれど、現実でないと夢みたくないことを言ってもだめ。3ヶ月に1回でもいいから委員が草を刈っておいてくれば、きれいな時もあるのだと思うし、汚い時はなぜ汚いのだろうと思うし、みんなの気持ちがそういうふうになるようにしていかないと、世の中引きずっていくわけにはいかない。みなさんの気持ちが上ってきた時にそれを見計らってやるようにしないと、太鼓叩いても誰も来ない。
- 整備計画等立てて、いつやるという内容を提出して、郵送なりして、日にちを決めてやるという形をとれば。
- 市民会議の話ではないが、この会ではなく委員が音頭をとって、会の設立等は協力するので、別の時に話されてはどうか。そうすると、例えば委員が月1回来る時に我々が入っていくにしても、いつやっているかわからなければ手伝いできない。将来的に本木ワンドの整備の会の準備委員会を作り、計画を立ててやっていけば徐々に広がる。桜までの大きな必要性はないと思うが。
- 3月までに草を刈らないと4月から芽吹いてくる。2月3月までの行程表を作りまずここをやる。今まで珍しい草を植栽していたが、ミヤガワさんとハヤシさんがなかなか参加できない状況になったので、この見通しをよくすることと池の周りをきれいにし、そしてゴミを拾う、これだけである。オギだけを残しておいて、案があれば委員にもご指導いただきながらやってもいいかなと。とりあえず、きちんと草を刈っておかないといけない。
- 底さらいはやったか。
- まだやっていない。
- 水深はそんなに深くないだろう。
- ビニールシートが半分破り取られているので水が溜まらない。
- こういう所を整備していただけると。
- 元のワンドの方か。
- 違う。
- ひょうたん池か。確か張っていないと思う。
- 掘っただけである。
- あそこは井戸水が出るようなので、張れないはず。
- この前行った時は完全に干上がっていた。
- 下にシートがないなら底さらいをすればよい。土が上ってきてほとんど水がなかった。



- 干地化の理由にヨシが繁茂している。根切りもしないといけない。
- あそこはヨシがよく生える。
- 今の提案を何人かでもんでいただいて。ボランティア等のアナウンスは前に荒下のホームページ掲示板だが、あれはまだやっているのか。イベントや集まり等の情報を書き込んでいたが。
- ARA ではないか。
- あれを見るとクリーンエイドやイベント情報があった。最近全然見ない。
- ビジターセンターで協力するのは難しいか。例えば定期的に区民に募集をかけて自然観察会をやっている。そういうところにワンドの観察会を含めて少しボランティア的なことも含めて来てもらうのはどうか。何でもかんでも委員ばかりで。足立区から有償で施設を運営してもらっているの、やはり協力してもらおうような何かあってもいいと思う。
- 区との話し合いの上でできることは進めたいと思っている。選定が更新時期を迎えているので、区と話し合いながらやるしかないが、私たちもぜひやっていけることはしたい。
- ビジターセンターは区の管理下でやっているから、区の要請がないとできない。
- 管理者が変わる可能性もある。
- 勝手にはできないし、有償でしかできない。
- プロポーザルで選定業者を3年に1度やって今その時期である。今選定中で、今の業者が続くかどうかは未定。少ない人数でやっているの、荒川全体を見てもらうのは厳しいのかなと思う。
- 桜の観察会等に日替わりお手伝いしてもらえないかということになると、土日祝日もあるし、予算もあるということだが、結局区の管轄下だから、自主的に本人がボランティアで来る以外はすべて予算がからむから、ビジターセンターでは決定できないと思う。
- 区との協議の上、また来年度私どもがいるかこれから決まることなので、気持は大いにあるが、区との調整による。
- 新たな計画の時に、こういうことも協力するという事だけやっていけば。
- そこまでは話が進んでいるからできないが、例えば来年度の業者と私たちが話し合っ、イベント会場を今新田でやって来てもらっているように、本木を会場にしたことをやってというような要望を出していけば、少しは業務の中でやってもらえるかもしれない。
- 業務の中で協力できるという契約というか要請などをすれば良いのではないか。
- すべて予算だと思う。
- 回数は限られているから、場所を変える程度である。
- ボランティアだから、市民団体だから。やったことに対して寄付の一部を区が負担してくれとかいうのはあると思うが、人件費は出ないと思う。
- 耕作道具を置く場所があると楽なのだが。
- 野球の人はホームレスの所に資材を置き、代わりに弁当をあげている。私はいいと思わないが、資材を置く場所はない。町会と連携できれば、町会の所に置いてもらったりできるかもしれない。
- 民間でボランティア含めて、自然地管理をしなくてはならない時代になってきている。多分これから荒下と模索しなくてはならない時代だと思う。
- 本来は今日の会議に向けて提案あるいは質問しなければならないことだったが、河川敷の

サイクリングロードでジョギングしている人あるいは歩いている人、サイクリングしている人同士で、事故が起きてトラブルになることはないのか。なぜかという、私の友人が川口から上野まで自転車で通っている。車と自転車の関係みたいなもので、車に乗っていると自転車が邪魔だと思う。強者弱者との関係であろうかと思うが、サイクリングしている人間にとってみればもう少し整列して歩いてほしい、走ってほしい、逆に言うとサイクリングロードではないから減速しろと歩く人の気持ちになるとあるだろうと思う。トラブルが起きると当然責任を持って来られるのは国交省や区だと思うが、どういう対処をしているか。私の読み込みが浅いのかもかもしれないが地区別計画案の中には載っていないような気がした。

- トラブルは実際起きている。自転車と人がぶつかり、何千万も請求されて困っている方もいた。あそこはあくまでも管理道路でサイクリング道路ではないので、話はずいぶんくることが対応はできない。国に横断歩道の設置や砂利道に戻した方がいいという話があるが、あれだけきれいになっているし、マラソンにも使っている。お互い注意してもらえない。
- 使い勝手のいい、めったにああいう条件のいい所でサイクリングできる所がないから余計に入り込むのかもしれないが、今から直すのは大変なことかもしれないが、大幅にくねらせてみるとか、あるいは所々深い切り込みを入れてスピードが出せないような状況に道路を造る。あるいは水が流れるような感じで作っているという大義名分がつくような掘り込みを入れる等、そうすることで自転車が減速せざるを得ないような施策はとれないのか。
- 他の区からも同じような意見が出ているが、横断歩道を造ることや、完全に分離してしまう等いろいろな案が出るが、仮に横断歩道を作ると交通を規制するような施策になってしまう。うちが交通管理者の役目は難しいが、今の話は出ており、推進計画のP.19, 20、地区別計画では全体の問題としている。ハード対策をやればいいのかとって、デコボコの所で転ばれても困るので、今まさに利用ルールの協議会を立ち上げて検討部会で検討している状況である。
- 利用ルールを定め、昨年10月からキャンペーンをはって啓発活動をやっているの、この状況を見守るしかないと思っている。緊急河川敷道路なので、震災時等通れないという状況では困るので、道路自体は必要性があってやっているの、逆にボコボコさせてしまいい使おうとした時に使い勝手が悪くなるとそれはそれで困る。自転車利用は冬場は若干少なくなっているように聞いているが、逆にマラソンが多くて、マラソンの人と一般利用者がいざこざがあるようなので、利用をされる人にみんなで譲り合って使いましょうということを広報している。
- おっしゃることはよくわかるが、キャンペーンをするしかないだろうし、性善説に立ちたいが、完全に立ちきれない所にジレンマがある。
- マンションのちらしではサイクリングロードになっている。新田にたくさんマンションができていて、マンションを買う人も近くにサイクリングロードがあるならばいいということで買った人もいる。それは規制というか、サイクリングロードではないということ国交省の方でデベロッパーに徹底させることはできないのか。
- 広告自体は間違った広告にはなっているが、こういう所ですよ、みんなで使うのですよということをもっとしっかり行政から情報発信しなくてはいけないと思う。この後協議会で議論していくことになると思う。

- 誇大広告だと東京都の消費生活局で指導してもらうことはどうか。
- 道路に 20km と書いてもらったのでだいぶ違う。あれからだいぶスピードを落とすようになった。
- サイクリングの愛好家は 20km 以下にスピードを落とすが、一人や二人だと相当スピードを出すような傾向もある。イベントに行かないであそこを通る人にどうやってお知らせするのか。
- 10km を何分で走れるかとか、そういうことをやっている人たちも正直いる。
- 水元公園はカーブが多くてガタガタにわざととしてある。この先はデコボコがあると書いてある。あそこは道路ではない、20km 減速とか駐車禁止とか標識がない。
- 高速道路でさえ何 km か走るとババババとなるようにしているわけだから、何かできるのではないか。
- 環七の葛西橋もガタガタなるようになっている。
- P. 19, 20 の利用ルールの 1~9 はいつまでたっても変わらない。
- みんなが市民委員になればわかるのだが。
- 今の質問は荒下でいろいろと検討しているということと、本木ワンドの件はまた新しい会を立ち上げて活動するという事なので、それぞれお願いします。
- 2, 3 月に一回草を刈らなくてはいけないので、早急にやる時はどうしたらいいか。
- 計画の立案や方向性とかご相談はさせていただけるので、ここではなく一度日にちを決めて話をしてからの方が良いと思う。
- 打合せをしてみなさんにとという形か。
- 発議委員からいただければ最初はまずみなさんに案内するのはいいが、その後は委員の賛同の下に、市民会議で守っていくということではないので、その中の本木ワンドに関心のある人がやるということでどうか。
- 3 月の初めの第 2 か第 3 土曜日に決めておけばいい。
- 私は、野球連盟にどういうチームが入っているか調べる。ワンドでやっているチームを調べてみる。入っていない場合は、一応注意はできるが、止めろとは言えない。

## 5. その他

- 次回の予定は。
- 市民会議の運営の話もあるので、その状況を踏まえて調整する。
- 今日いろいろな課題が見えてきて、計画もできて、みなさんやる気が出てきた時に。春になったらまた状況が変わるかも知れないから、待ちましょう。
- 担当が替わるから、年度が変わるとすぐには開けない。
- 担当が替わる話は別として、今年度中に話が固まるという感じであれば 3 月 8 日以降までに決まる形であれば、調整して早ければ 4 月下旬にしたい。
- できる。課題は見えてきているから。間をおくと熱気が冷める。

・2 月 25 日にシアター1010 アトリエで荒川学会年次大会 2011 を行う。国交省と市民から利用ルールに関する発表がある。日米さくら交流 100 周年記念パネルの展示も行う。3 月 3 日に発明会館で多自然川づくりシンポジウムを行う。

- ・新田自然保護の会では毎月第 2 日曜日 10 時からゴミ拾いをしている。今月は今度の日曜日にサクラソウの移植を行う。

以上